



子どもたちの交通安全を願って

ト ヨタライン株式会社(代表取締役会長 齋藤和博さん)が4月4日(火)に役場を訪れ、通学用黄色帽子110個を寄贈しました。これは運送業を営むトヨタライン(株)が自社の交通事故防止の啓発も兼ねて、町内の子ども達に通学時によく目立つ黄色の帽子かぶってもらい、子どもが関係する交通事故を防ごうと毎年寄贈しているもので、今年で17回目となります。寄贈された帽子は、各小学校で7日(金)に行われた入学式にあわせて新1年生に配られました。

各地で交通安全を呼びかけ

春 の交通安全県民運動が、4月6日(木)から15日(土)までの10日間行われました。初日の6日には野川食肉センター駐車場で出発式が行われた後、大石田町、尾花沢市の交通安全推進協議会や交通安全母の会などのメンバー約100名が国道347号の歩道に約300メートルに連なって、「交通事故よさよなら人波作戦」で交通安全を呼びかけました。また、各地区の交差点などで、小中学生の登校時間に合わせて、交通安全を呼びかけました。

春は新入学児童や新社会人の通勤通学などが始まり事故が多くなる季節。人も車も自転車も、交通ルールとマナーを守って事故防止に努めましょう。



ニュース 玉手箱

身近なできごとや楽しい話など、広報紙で紹介したい話題をお気軽にお寄せください。町のホームページの「早耳通信」でも、大石田町のいろいろな話題を紹介していますので、ぜひご覧ください。

<http://www.town.oishida.yamagata.jp>

■総務課 総務グループ TEL 35-2111 内線218



二十四孝 Part II 活動開始

高 校生ボランティアサークル二十四孝 Part II の新年度の活動がスタートし、ワークショップ「ボランティア出前講座」と総会が4月5日(水)に福祉会館第1研修室で行われました。ワークショップでは参加したメンバー11名が3つのグループに分かれ、自分が得意なことや興味があることを付せん書き出して大判用紙に貼り、ボランティア活動と結びつける作業を行いました。その後自分の興味「食べること」からボランティア活動として地域の食材を使った料理教室を開催してお年寄りと交流する、など具体的な活動案が次々と発表されました。総会では、ワークショップで提案された活動案のうちいくつかを行うことも決まり、メンバーらは具体的な実施方法について真剣に話し合っていました。



児童守るネットランチャー導入

不 審者対策のために町内小中学校に新たに配備される「ネットランチャー」の教職員を対象とした説明会が4月4日(火)に役場大会議室で行われました。

ネットランチャーは懐中電灯のような形の装置で、スイッチを手前に引くと網が飛び出しておよそ3メートルに広がり、標的に絡み付きます。ネットはパラシュートに使われるものと同じ丈夫な素材で、不審者に絡み付くと身動きが取れなくなるというもの。体験会では2名の教員が発射役と不審者役となって使用方法を確認しました。発射役となった田中歩美先生(大石田南小)がスイッチを引くと不審者役の横尾直人先生(大石田中)にネットが絡まり、動けば動くほど身動きがとれなくなる様子を確認していました。

火災を防げ！

春 の火災予防運動が4月9日(日)から22日(土)までの2週間行われました。運動に合わせて10日(月)には役場正面玄関で春季火災予防運動キャラバンの出発式が行われ、三浦清孝団長をはじめ町消防団員や尾花沢市消防本部の職員、町職員などあわせて約40名が参加しました。

出発式では三浦団長が「昨年町内では2件の野火が発生している。春は空気が乾燥して野火など火災が起こりやすくなるので、しっかり防火の啓発活動を行っていききたい」と決意を表わしました。その後団員らは各班の車両に乗り込み、各地区で防火標語のビラ配って防火を呼びかけました。

